

健康診断でなにがわかるの??

・主な健診(検診)項目の内容をまとめています。

令和7年度版

<基本的な健診(特定健診・健康診査)>

- 糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病の早期発見に着目した健診です
- 基本的な健診は、毎年受けることで経年変化を確認できます。
- 加入している健康保険によって検査項目が異なります。

主な検査項目	問診・診察	血圧測定	身体計測 (身長・体重・腹囲)	尿検査 (尿蛋白・尿糖)	眼底検査
	心電図検査	血液検査	※詳細な血液検査項目 血糖(空腹時血糖・HbA1c)、脂質(HDL コレステロール LDL コレステロール・中性脂肪)、肝機能(AST・ALT・γ-GTP)腎機能(クレアチニン・eGFR)、貧血(赤血球・血色素・ヘマトクリット)		

◎血糖値ってなんだろう?

血糖値とは血液の中の糖の量の値のことをいいます。高血糖は、糖が体のエネルギー源にならずに血液中に取り残されたり、血糖値を下げるホルモン(インスリン)を出す膵臓が疲れてインスリンが不足したりすることで起こります。

☆血液検査では、血糖値や HbA1c(直近 1~2 か月間の血糖値の平均)で血糖の状態を知ることができます。



<その他の検査>

肝炎ウイルス検査



肝炎はウイルス感染によって肝臓の細胞に炎症が起きる病気です。血液検査でB型、C型肝炎ウイルスの検査をします。

〔肝炎ウイルス検査を受けられない方〕

- ①過去にこの検査を受けたことがある方
- ②肝炎で治療中または経過観察中の方

骨粗鬆症検診

X線撮影をして骨密度を測定します。

▶骨粗鬆症検診は骨の健康状態を知る上で重要な手がかりです。特に女性は症状がなくても、40歳になったら定期的に受けることをお勧めします。



★下記の対象の方は令和7年度の市の健康診断受診の際、自己負担分が無料となります★

生年月日	その他の条件	無料健診(検診)	助成額
昭和39年4月1日~昭和40年3月31日	市民の男女	胃・大腸・肺がん検診	自己負担分 3,500 円が無料
	市民の男性	前立腺がん検診	自己負担分 2,750 円が無料
	国民健康保険加入	特定健診	自己負担分 1,000 円が無料
	市民の女性	骨粗鬆症検診	自己負担分 2,200 円が無料
昭和49年4月1日~昭和50年3月31日	国民健康保険加入	特定健診	自己負担分 1,000 円が無料
昭和59年4月1日~昭和60年3月31日	市民の女性	骨粗鬆症検診	自己負担分 2,200 円が無料
昭和59年4月2日~昭和60年4月1日	市民の女性	乳がん検診	自己負担分 2,250 円または 2,500 円が無料
平成16年4月2日~平成17年4月1日	市民の女性	子宮頸がん検診	自己負担分 2,100 円または 3,000 円が無料

<がん検診>

- 死因の第1位はがんです。2人に1人ががんになる今、がん検診による早期発見・早期治療が重要です。がんによる早死や、生活の質の低下を減らすために、がん検診を受けましょう！
- がん検診は症状のない方が対象です。自覚症状など気になることがある方は医療機関を受診しましょう。

胃がん検診

バリウムを飲んだ後、食道から胃、十二指腸までをレントゲン撮影する検査です。胃がんのほか、胃潰瘍や胃炎などを早期発見することができます。

▶胃がんは40～50歳代の方がなりやすいがんです。特に男性に多く、喫煙・飲酒習慣のある方が発症しやすいです。



【胃がん検診が受けられない方】

- ①胃・腸の疾患で治療中または経過観察中の方
- ②胃全摘術後の方
- ③妊娠中または妊娠の可能性のある方
- ④その他医師より検査困難と判断された方

大腸がん検診

便に潜む血液の有無を調べることで、がんやポリープなどによる大腸内の出血がないかを検査します。

▶日本人に最近増えてきている大腸がんは40歳代から増えはじめ、男女ともに死亡原因の高いがんです。

【大腸がん検診が受けられない方】

○ポリープの切除を含む大腸の手術をした方、治療中または経過観察中の方

《注意》

・女性の方は月経中の採便を避けてください。(便に血液が混入し、正しく判定できない場合があります)



肺がん検診

X線撮影をして、がんや呼吸器疾患(肺結核・肺炎)などを検査します。

▶日本人の肺がんの主な原因は喫煙ですが、非喫煙者でも発症することがあります。

【肺がん検診が受けられない方】

- ①肺がんで治療中または経過観察中の方
- ②妊娠中または妊娠の可能性のある方



乳がん検診

乳房を押し挟んで平らにし、X線撮影するマンモグラフィ検査です。

▶乳がんは40歳以上の女性に多く発症しやすいです。

【乳がん検診が受けられない方】

- ①乳がんや乳腺疾患で治療中または経過観察中の方
- ②妊娠中または妊娠の可能性のある方・授乳中の方
- ③心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方



子宮頸がん検診

ブラシで子宮頸部の細胞を採取し、がん細胞など異常細胞がないかを調べます。

▶子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)による感染が主な原因で、20～30歳代の若い女性に発症しやすいがんです。20歳を過ぎたら検診を受けることをおすすめします。

